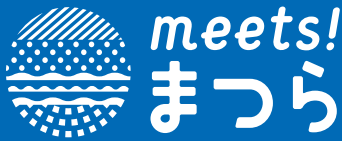


天神書簡—福岡事務所便り—



福岡発！「まつらSTOCK」 松浦の郷土食が美味しいパスタに大変身！

福岡から見てきた松浦の宝物。その筆頭が、産地ならではの「食」です。松浦市はまさに食の宝庫。

そんな松浦の「食の記憶」をたくさんの人に知ってもらいたい。後世に残していきたいという思いから生まれた「まつらSTOCK」という概念を料理という形で表現したもの。それが今回完成した「まつらパスタ」レシピ集です。

しめ鯖、しらす、小いか、鉄火味噌など、松浦の郷土食がパスタに大変身。旅の思い出として各家庭で味わえる「まつらSTOCK」を松浦と福岡でぜひお楽しみください！



▲レシピ集は、福岡市内各所および松浦市内道の駅等で配布

問合せ先

松浦市福岡事務所
☎ 092-406-2180

✉ matsura.f@city.matsuura.lg.jp



わたしたちの郷土

134
巻



中世の松浦（99） 鷹島海底遺跡

「発掘された日本列島2017」

日本国内では、毎年およそ8千件の発掘調査が行われています。マスコミなどを通して発掘調査の報道が行われていますが、取り上げられるものはごく一部です。そこで文化庁では、全国的に注目された発掘調査の成果を周知するために、平成7年度から「発掘された日本列島」展を開催しています。

今年度は、東京都大江戸博物館を皮切りに、国内5か所の博物館で開催されることとなっています。この度、紹介される遺跡のひとつとして「鷹島神崎遺跡」が取り上げられ、元軍の炸裂弾「てっはう3点」を出品しています。なお、この日本列島展は、平成30年1月13日～2月25日にかけて、香南市立一支国博物館でも開催されます。

また、7月15日～9月10日には、九州国立博物館文化交流展特別展示「水の中からよみがえる歴史―水中考古学最前線―」が催されます。この特別展示においても、鷹島海底遺跡から発見された遺物や元寇船の展示が行われ、水中での調査技術、最前線の調査事例が紹介されることとなっています。

鷹島神崎遺跡が平成24年に水中遺跡としては初となる国史跡に指定され、鷹島海底遺跡及び鷹島神崎遺跡に高い注目が集まっています。博物館等での遺物の展示をはじめ、教科書などの書籍にも鷹島海底遺跡の遺物や調査風景が掲載されており、現在、松浦市内で使用されている中学生の歴史の教科書には、鷹島から出土した「てっはう3点」が紹介されています。



▲ 発掘された日本列島 2017
に出品する「てっはう3点」

Summer Festival — 夏祭り —



パトリック・マグワイヤ
Patrick Maguire
オーストラリア出身

こんにちは！
外国語指導
助手です。



6月は私にとって夏です。そして、私にとって夏は、祭りの季節です。日本に住んでいて素晴らしいこと、そして異文化を体験することのひとつが、これまで想像したことがないものを見たり、経験したりできることです。

日本にいと、祭りの興奮の虜にならない方が難しいです。音楽、地域としての一体感、色とりどりの浴衣を着た人々の姿(私もいつか着てみたいと思っています)、屋台(私はたこ焼きが好きです!)、夜空を彩る花火、そして美味しい飲み物。オーストラリアの祭りとは違って、日本の祭りでは、式典や様々なパフォーマンスが行われるステージが用意されていて、とても興味深いです。友達が、ステージで三味線や太鼓を演奏したり、よさこいの踊りを披露することもよくあります。

私が松浦で初めて祭りに参加したのは、お盆の時です。太鼓の演奏の音が聞こえて、音を頼りに歩き出しました。そして聞こえてくる太鼓の音がだんだん大きくなっていったので、正しい方向に進んでいることがわかりました。提灯の明かりや、祭りの食べ物、太鼓など出演者の行列に圧倒されるという素晴らしい体験でした。

祭りに行く度にこの時の感情を思い出します。今年の夏もそうでしょう。今年も夏という季節と夏祭りを楽しみにしています。

日本は、古き良き伝統と近代的なものが混じり合って繁栄している国だと思います。



図書館の
おすすめ

BOOK
本



市立図書館
☎ 0956-72-4677



松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索

土日、祝日も開館しています。(年末年始、臨時休館を除く)

『ミツバチと暮らす』

藤原 誠太/著 地球丸



日本ミツバチの飼育法を開発した養蜂家である著者が、ミツバチの生態、入手方法から飼ひ方、巣箱の作り方、はちみつの採集方法などを丁寧に解説した一冊。はちみつについて知りたい人にも、ミツバチを育ててみたい人にもおすすめです。

『すばこ』

キム・ファン/文、イ・スンウォン/絵
ほるぷ出版



巣箱は、ひとが作った鳥の家です。もともとはわなだったものが、鳥の家になったのは100年ほど前のこと。はじめたのは鳥が大好きなドイツの男性だったことを知っていましたか？ 巣箱の始まりと楽しみ方を描いたノンフィクション絵本です。

図書館のなぜ② シリーズなのに…そろっていない？ ～「貸出中」とは限りません～

図書館で本を探していると、写真のような本の並びを目にすることがあると思います。



▲「スコアブック」
①②が抜けている



▲「レインボーマジック」
巻が飛び飛び

「誰かが借りているだけじゃないの？」…その場合もありますが、移動図書館車「きらきら号」に乗っている場合があるのです。

《ポイント》

“シリーズもの”で、全巻見あたらないときは「きらきら号」かも！

図書館の本は、「きらきら21」と「きらきら号」の間を行ったり来たりしています。きらきら号に本が乗っている場合、前回ご紹介した「検索結果票」では所蔵館が「BM」と表示されます。

「BM」とはbookmobile(ブックモビル)の略で、移動図書館車のことです。検索して「BM」の文字が表示されたら、カウンターの職員にお伝えください。きらきら号が巡回に出していない場合は、その場で閲覧・貸出が可能です。巡回中のときは、残念ながらすぐに提供できませんが、予約していただくと確実に読めますよ。